## 健全育成シリーズ 22

# 子どものための家庭づくり

四月は子どもたちにとっては、入園、入学、卒業、就職等々希望に胸をふくらませて出発する時であり、その子たちを囲む親にとってもまた新しい子育てに向けて、いろいろな考えをめぐらせ、家庭の生活設計をする時でもあって、親も子も互いに多忙な時期でもあります。

最近は、学校五日制という新制度のために、ちまたではその対策等が強力に論じられておりますが四月という時期を迎えて、家庭と子どもの成長とについて、生活の足もとへ目を向けてみたいと思います。

「はえば立て、立てば歩めの親心」と言われるように、我が子の人間的成長は、親にとって最も子に託す願いであると思います。

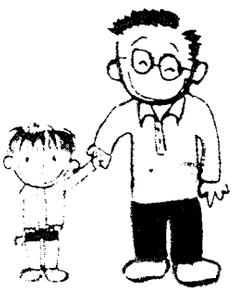
その人間としての成長に最大限の願いを込めていた我が子が、幼稚園、小学校、中・高校へと成長するにしたがい、我が子への「親」として、「家庭」としての責務は、大きくなって来ます。

広田君美先生は、その著書の中で、次のように言っております。

『従来家庭と言う集団は、二つの機能（働き）を持つと言われてきた。一つは「防御的機能」であり、二つには「子どもの社会化機能」を担っている。

このことは、家庭が社会の圧力や悪影響から子どもを防御してやる役割機能と、子どもを良き市民として送り出すために、家庭集団が子どもの「しつけ」や「人間形成への教育」の役割を担っていると言うことである』と……

さらに先生は、子どもを取り巻く環境がテレビや図書をはじめ街頭の俗悪な環境から、家庭と言う防壁が、子どもを守りきれずに茶の間が街の雑踏の中にある状態で「知らぬは、両親ばかりなり」と言われるように、親の手の届かないところで、両親がカラカワレているような状態で、物心つく頃から、それお稽古、それ何の塾等々と言って、教師や受験教育屋に我が子のすべてを委譲しようとして、子どもが本来社会性を身につけなければならない大切なことを忘れ、放任し、やがては、ハラハラ・オロオロしながら、子どもの顔色をうかがっている。…と説いています。



近年子どもの父母は、共稼ぎをする場合が多く、父親は子どもの家庭での「しつけ」や「教育」に係わる一切を母親に任せ、夜だけクタクタになって帰宅する。＝言いかえれば、月給運搬人としての父親に成り下がってしまい、一方母親は、「母原病」と言われるように、過保護や度を越す甘やかしから、子どもの人間形成に必要な事項を他人（塾や家庭教師）に委ね、あげくの果てに問題行動が発生してしまう場合が少なくありません。

子どもにとって、家庭がその家族集団として、共に正常に機能することにより、親は子をより理解し、子どもはより明るくその社会性を伸ばすことができ、安心して落ちつける場所となります。

四月と言う年度のスタートに当り、もう一度家庭の中の家族集団を見直してみてはいかがでしょうか。子どもの社会化やしつけなどの教育を他人に委ねてしまっては「ウグイスに卵を抱かせるホトトギス」のように、後で親の鳴き方と違った鳴き方をする、我が子になってしまいます。

「三つ子の魂、百までも」です子どもにとって、暖かい愛情の中で育まれるということは、一生忘れ得ない「宝」となります。

## ふるさとの宝を訪ねて

# 川茂・古宿地区 探検隊

四月から十一月までの毎月第二土曜日（学校五日制実施日）に、ふるさとの宝を訪ねる〝ふるさと探検隊〟を開催します。

今回は、「川茂の桜」を中心としたコースです。

期日　4月10日(土)
（雨天中止）

集合場所　禾生駅前

集合時間　午前9時30分

持ち物　お弁当、筆記用具

申込・問合先
ふるさと探検隊実行委員会
田野倉18　フジプレコン内
坂本光春　☎(43)7733

**ふるさとのTAKARA**

**川茂の桜**

川茂発電所は、桜の名所として人気のある場所です。

桜の咲く頃、遠くに富士山を望み、桂川沿いの川茂発電所一帯が桜花に覆われる景色は、ほんとうにすばらしい都留市の宝です。

# 青少年育成都留市民会議 会員募集

「青少年育成都留市民会議」では、平成5年度の会員を募集します。青少年の健全育成に広く市民の皆さんの力を発揮してください。

申込先
文化会館3階　青少年育成都留市民会議事務局
☎(43)1321

会　費　年額　1,000円

申込締切　4月20日